浮魚情報（第２報）

令和７年６月２７日
宮城県水産技術総合センター環境資源チーム
Tel：0225-24-0139　　Fax：0225-97-3444

カタクチシラス分布調査結果

○調査方法

・６月２７日に県漁業調査指導船「開洋」にて、県仙南海域の共同漁業権内においてシラス分布調査を行いました。

・調査方法は、魚群探知機によりシラスやイワシ類と思われる反応を調べ、魚種確認のため、中層トロール網（10 分曳き）による捕獲調査と漁場環境調査を行いました。

○魚群探知機航走調査結果

・St.1 周辺から St.3 周辺までの表層で断続的なポツポツとした反応が見られ、St.1 及び St.3 周辺の表層～底層でやや濃い目の反応が見られました（図 1、図 2）。

○中層トロール網による魚種の確認結果

・図 1 に示す山元沖 T１及び T2、名取沖 T3 において中層トロール網（10 分曳き）を行った結果、T1 では 23 尾、T2 では 30 尾、T3 では 6 尾採取されました。漁獲物の体長は T1 で 10～18 mm（平均 13　mm）、T2 で 7～17　mm（平均 11mm）、T3 で 32～36　mm（平均 34　mm）でした（図 3）。St.3 ではカタクチイワシの成魚が 80 尾採捕されたことから、濃い反応はカタクチイワシ成魚の可能性が高いです。カタクチシラスの CPUE は（尾／網）は、T3 で昨年を下回りました（図５）。

○漁場環境等

・調査海域の表層水温は、18.8～22.2℃、底層付近は、12.1～16.9℃となっていました（表 1）。

・調査漁場の底層付近は St.2 で水産用水基準（6　mg/L）を下回り、低酸素状態となっていました。

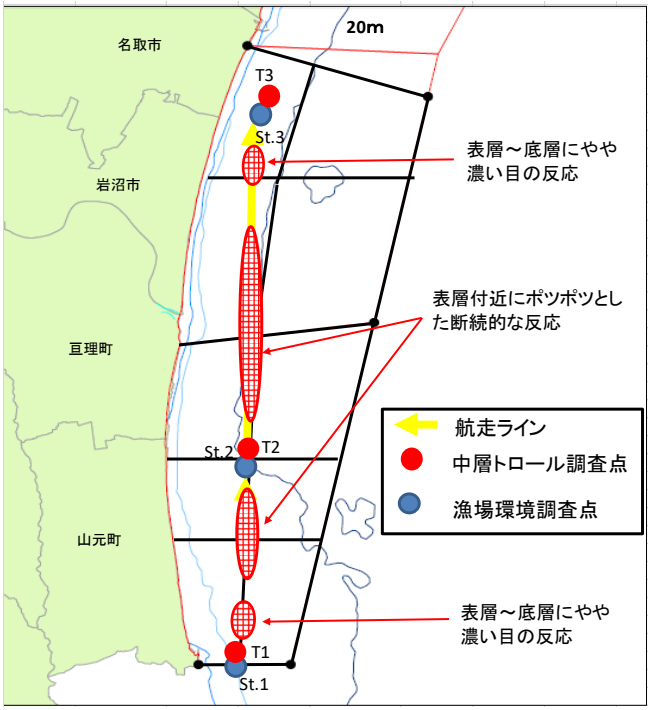
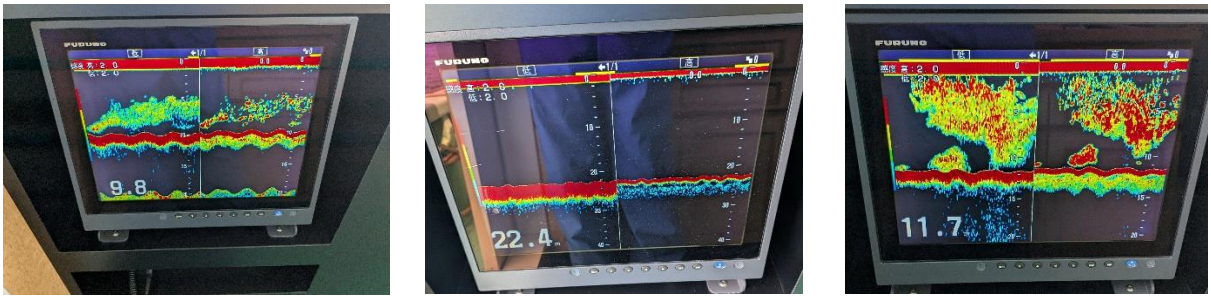


図 1　航走ラインと中層トロール調査点

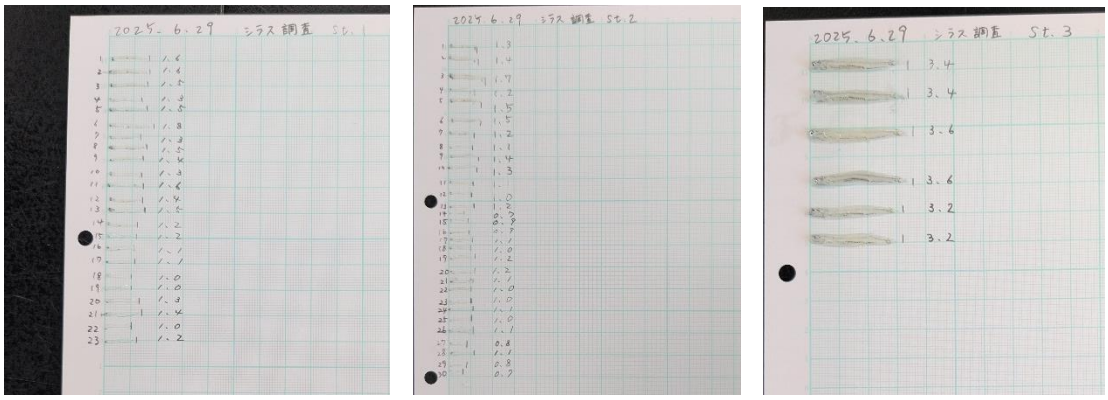
表 1　調査漁場の環境調査結果

St	時間 水深(m)	測定層 (m)	水温 (℃)	塩分	pH	DO (mg/L)
St.1	9:37	0	18.8	32.5	8.2	8.3
	9.9	5	15.2	33.0	8.2	9.0
		B-1	13.7	33.2	8.1	7.2
St.2	10:39	0	21.2	28.2	8.2	8.3
	21.2	5	17.0	33.0	8.2	8.8
		10	13.5	33.2	8.2	8.5
		15	12.3	33.4	8.1	8.0
		20	12.1	33.5	8.0	5.9
		B-1	12.1	33.5	8.0	5.9
St.3	11:29	0	22.2	30.3	8.2	8.3
	7.9	5	18.0	32.3	8.2	8.3
		B-1	16.9	32.4	8.2	8.2



St.1　　St.2　　St.3

図 2　各調査点での魚探反応



St.1　　St.2　　St.3

図 3　中層トロールで採捕されたカタクチシラス

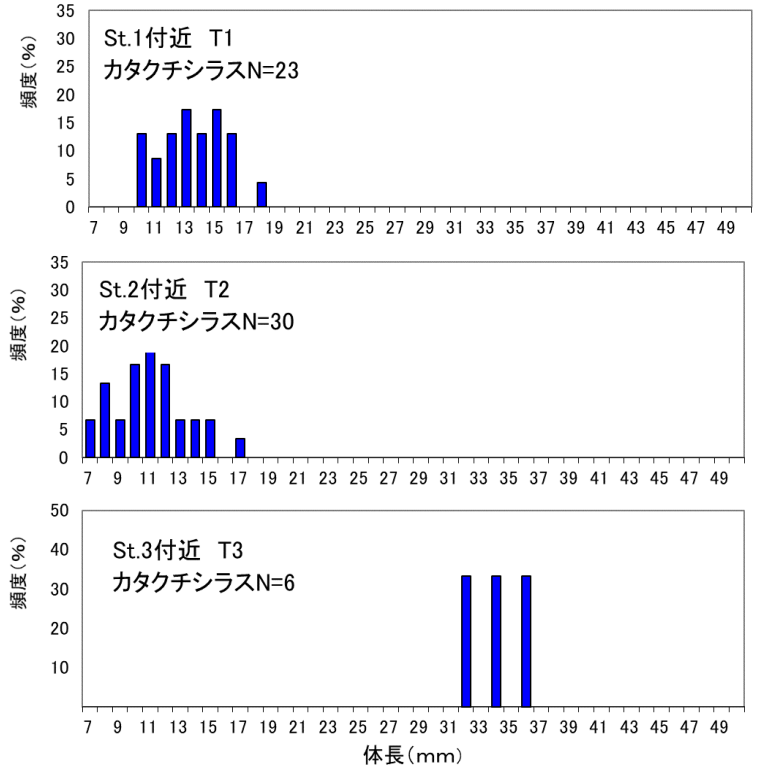


図４　中層トロールで採捕されたカタクチシラスの体長組成

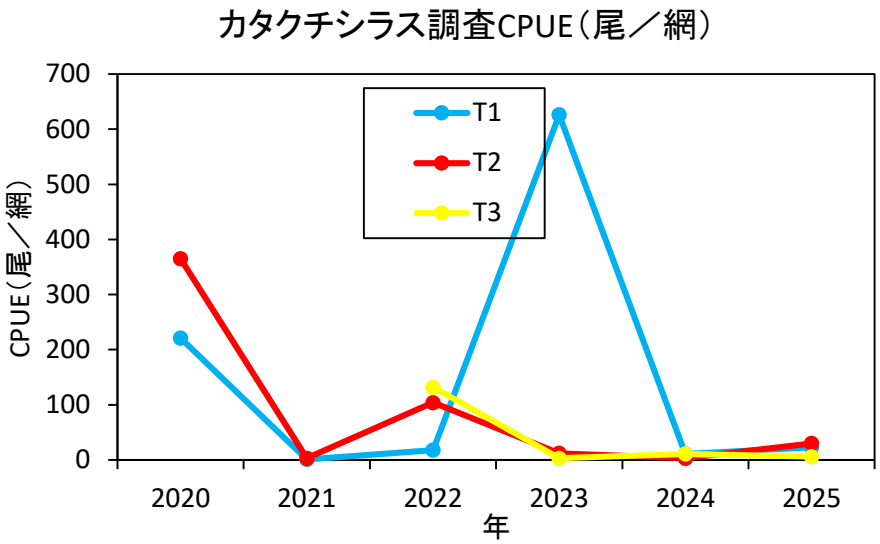


図５　中層トロールで採捕されたカタクチシラスの **CPUE**（尾・網）の変化